

妹尾義郎 せいの ぎろう 佛教運動家。明治二十二年十一月十六日廣島縣生れ、
昭和二十六年八月四日歿（六六—一九六二）。號學應。第一高等學校を病
氣中退。劇病十年ののち法華經入信。大正八年大日本白蓮主義青年團
を結成、翌年機関誌『若人』創刊。昭和六年新興佛教青年同盟を組織
し、委員長就任。十一年檢舉せられ、實刑二年を受く。二十一年佛教
社會主義同盟を興し、二十四年日本社會黨に、のち二十五年日本共產
黨に入黨した。『妹尾義郎自記』全七卷（昭和四十九年刊）等がある。
著書『新興佛教の提唱』（昭和六年十月）『二十五日佛旗社』等。稲垣真
美著『公陀を背負って街頭へ―妹尾義郎と新興仏教青年同盟』（昭和
四十九年四月）『二十一日岩波書房「岩波新書」』刊。

